



# NEWS LETTER



## 「負担は最小限に。効果は最大限に。」

北海道こども発達研究センターの木村正剛先生が、昨年に引き続き、花色に姿勢保持や抱っこの仕方等をご指導に来て下さいました。

先生は声のかけ方、話すスピード、こどもとの触れあい方、全てが愛に満ちています。私たちは、日々従事する中、ちょっとした疑問がoccurs。～抱っこの仕方はこれで良いのかな？～腕をあげられず、視野に自分の手が入ってこないお子様が、実際に手で触っている物と、見える物を結びつける方法はあるのかな？等々悩みます。私たちは幼少期に色々な物を“見て、触って、確かめること”を繰り返して行い、日常動作を獲得してきました。しかし受動的に生活をしていると、経験を積むという事や、自分の身体を知るという事は、身近な事ではないと感じ、何か方法が無いかと思いがぐるぐるすることが多くあります。そんな私たちの一つ一つの疑問や悩みに木村先生は今回も丁寧に答え下さりました。

「触る」ということは、まずお子様が不快にならない事が大切です。触り方によって神経の働きが異なります。心拍が上がらないように受け止めてもらいながら活動してはどうでしょう。◇そっと触れる。◇優しくタッチする。◇優しく圧をかける。◇はじめから持続して圧をかける。～こうして触れ方が変わると、感じ受け方も異なります。」  
 「手が見えない方の支援は、①支援者が頬で物体を感じる場所を見せる。②本人も頬で感じる。③そして手元で感じる。という伝え方はどうでしょう。頬や口周りは感じやすい所です。」と、教えて下さいました。「お子様はとてもデリケートなので。」という言葉を繰り返し伝えてくださいます。『そして、負担は最小限に。効果は最大限に。』とこれまで学んできた手技や知識を惜しげもなく伝授して下さいました。この日、通所していた中に、側弯がすすみ、足が突っ張るお子様がいらっしゃいました。バギーに乗る事も大変そうで保護者様もとても悩んでおり、一緒に学ぶことになりました。～あれからひと月。今、身体に変化がみられはじめています。ピンと突っ張った膝は声掛けで力を抜き、曲げる事ができるようになりました。真っすぐ前を見て活動参加する姿も見られます。～まだ、子どもだからこそ～どんな状態も諦めてはいけなさと実感しています。今日から始められることが沢山ある事も教えて下さいました。「先生への感謝の気持ちは日々大きくなります。ご多忙中、旭川までお越し下さり有難うございます。子ども達にとって、より良い支援者になれますように努力し向上していきたいと思っております。これからも宜しくお願い致します。」



「ご本人が、力を抜くまでゆっくり待って、膝を少しずつ曲げる経験を積みましょう」



「横になっている時、首が少しずつ上をむけるように介助しましょう～焦らずに。」



「左腕を介助しましょう」

今は..



腰、足、首、腕、  
..全身を優しく触りながら活動参加しています。(お子様みんな同じようにしています。)



前をむいて活動に参加する時間ができました。

◀ 5月15日、花色のお昼寝の時間。身体を真っすぐにし、上をむいて眠る姿がみられました。

「左足、リラックスしてね。」と声をかけ足に触れると力を抜いてくれるようになりました！すごいですね！

# NEWS LETTER

## 詩集「ときのおわり」 青磁社

花色を応援、見守って下さっている方に、詩集「ときのおわり」をつづった山田リオ先生がいらっしゃいます。大病を患い、臓器移植をされました。その大変な葛藤や、優しい眼差しが詩になっています。その詩集の中に「新生児」という詩があります。



「あなたが声に出して読んでくださるたびに  
何度でも詩は新生児となってこの世に生まれ出るのです」

この二行に、  
私は日々の支援を重ねます。  
～ちゃんと伝えられているかな。  
～ちゃんと向き合っているかな。  
～未来を一緒に期待できているかな。  
初心にかえります。  
詩集「ときのおわり」を送ってください、ありがとうございます。

30年程前、まだ社会に出た頃の頃に、ある先生と出会いました。その方は、想いや情熱に溢れていました。口を開くと、ずーっと続くお話しは難しく。時には、息を凝らすほど張り詰めた空気になりました。

当時を思い返すと、私はちょっと頑なで少し遅れた反抗期！？だったように思えます。社会人で反抗期だなんて本当に恥ずかしい話ですが、エレクトロニクス音楽がよくわからず、どこか遠くのような存在のようで変に冷めていました。そしてその頃に、仕事としての音楽から離れてしまいました。今思うと、技術、努力、なにをとっても中途半端で、芯がなかったからです。

あれから長い年月が経ち、ふと無性に音楽と向き合いたい気持ちが高まりました。しかし30年も経つと、太くなった指は笑えるほど動かなく、こども達と歌うための伴奏も必死です。毎日、下手でも弾かなくてはと思った時、旭川市内の方から電子ピアノを譲っていただく事になりました。惜しくも譲っていただいた日に、坂本龍一先生の訃報をニュースで知りました。

30年ぶりに先生のピアノの曲を聴くと、想いやメロディーが、鍵盤のタッチに響いており心が震えました。どうして、若い時に気づけなかったのだろうと驚くほどです。不思議なものです。人生経験の先に、気づきや結びつくことが時折あります。

今ある暮らしの「当たり前」も、いつか「幸福な思い出」として熟すことができますように、花色のこども達と、一つでも多くの経験を分かち合っていきたいと思えます。

「坂本龍一先生、今更ですが有難うございます。」 齊藤由紀

## CD「星槎」

ピアニストの渡辺雄一さんからCDが届きました。

静かに奏でるピアノと  
穏やかなオペラ歌手の歌声が  
花色のお昼寝の時間を  
心地よい時間してくれます。

渡辺さんが作曲したのは  
「星槎」  
「ムーランルージュ」  
「金の靴、銀の靴」

CDには  
～東日本大震災から11年。  
津波・地震被害から再建された  
岩手県の三陸鉄道と  
澄み渡る東北の夜空をモチーフに  
つくりました～  
とメッセージが記載されていました。

作詞 北門笙さん  
作曲 渡辺雄一さん  
新倉一梓さん  
オペラ砂川涼子さん  
トリオ・ベルカントさん

素敵なCDをありがとうございます。

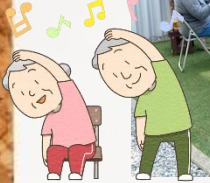


YouTube  
Yuichi Watanabe Piano channel



# 重度障がい児支援 花色 NEWS LETTER

コロナも5類になり、ご近所さんをお庭に呼んで体操教室開催



木村先生に教わった日の様子



ぼくが先生に  
おいしい  
旭川ラーメンを  
ふるまおう

北海道損害保険代理業協会旭川支部様より  
タオルをご寄贈いただきました



花色がお世話  
になっている  
保険デザイナー  
さんからお声  
かけを頂き、この度  
損害保険代理業  
協会旭川支部  
様より、  
たくさんのタオル  
を頂きました！

ありが  
とう

今年は例年より早く開花



小学校  
入学おめでとう！



中学校進学おめでとう！



新しいお友達です  
4月に“1歳”  
になりました！  
「いっぱい、  
遊ぼうね」

